

六月の天象

太陽 六月中太陽の赤經は四時三六分二二秒から六時三六分三一秒増加し、赤緯は二二度三分から二二度一分迄増す。二三日には二二度二七分の極大に達し、同日太陽は最初の夏の宮なる巨蟹宮に入り、書間が最も長い視半經

六月九日 一五四秒 二十九日 一五四五秒

夜明、日暮、日出入の時刻及日出入方位

夜明 日出 日没 日暮 方 日出入

一日 三時四十分 四時三十分 六時三十分 六時三十分
十六日 三時四十分 四時三十分 六時三十分 六時三十分

主なる氣節

芒種(黃經七〇度) 六日 午前九時二分
入梅(黃經八〇度) 十一日 午前二時〇分

夏至(黃經九〇度) 廿二日 午前二時〇分
月 二日午後一時三十三分九分新月、十日午後一時三十三分九分上弦、十七日午後一時四十一分満月、廿四日午前一時一六分下弦。二

日午後二時二四分遠地點を、十七日午前一時六分近日點を、廿九日午後八時二四分遠地點を通過す。

水星 一日赤經三時一分五七秒、赤緯北一三度二〇分。十六日、赤經四時一分三九秒、赤緯北一九度一五分、牧羊座から双子座の西境迄順行する夕空の星。四日午前五時西方二四度一五分の最大離隔、太陽から可なりの距離

離になれど、其の日出時に於ける高度は僅に十度位なり、双眼鏡で見得、正東から十度北の方を見よ。八日午前三時南方最大日心黃緯二十七度午前三時昇交點通過。視直徑八・五八〇秒、光度〇・七。負一・五等。四日(廿九日)十五日地球よりの距離一億五千萬〇九萬餘里。

金星 一日赤經七時一分四七秒、赤緯北二四度五六分、十六日赤經七時一分四〇秒、赤緯北二二度二七分双子座による宵星。六日午前〇時二二分月と合(月の北五度六分)にあり。九日午後八時の留を経て逆行となる。十七日午前三時降交點通過。視直徑四・一五四秒、五八〇二秒、光度負四・一。負二・八等。八日(廿九日)十五日地球よりの距離四千八百八十四萬三千餘里。

火星 一日赤經二時三十五分一二秒、赤緯南一七度二〇分、十六日赤經二時二分四秒、赤緯南一五度五三分山羊座から水瓶座迄順行する宵星。二十一日午前〇時一六分月と合(月の南三度二七分)あり。視直徑一・三。負一・七。二六秒、光度負〇・六。負一・三等。十五日地球よりの距離八千九百〇五十四萬一千餘里。木星 一日赤經一六時五十七分四八秒、赤緯南二一度五九分、十六日赤經一六時四十九分四〇秒、赤緯南二一度四八分蛇座にある星にして終夜見ゆ。六日午前十時太陽と衝となり観測に最も都合なり。十六日午後六時六分月と合(月の南四度一分)あり。極直徑四二・七。四。一四。一六秒。光度負二・二。負二・五等。十五日地球よりの距離七億九千三百四十二萬九千餘里。

土星 一日赤經一三時四十一分一秒、赤緯南七度三八分、十六日赤經一三時三九分一八秒、赤緯南七度三一分乙女座スピカ星の東方にある宵星。十三日午後〇時五十三分月と合(月の南一度五十四分)あり。廿日、午前一分一時留を経て逆行となる(其頃スピカ星の東方十八分北三度四分)あり。極直徑二・五五四秒、一五・七八秒。外輪の長軸四〇・九〇秒、短軸一〇・〇二秒。十三日(光度〇・七。負一・八等。十五日地球よりの距離十億四千三百〇五萬一千餘里。

天王星 十五日、赤經二三時二九分五一秒、赤緯南四度六分魚座にあり。十三日午前三時太陽と矩象。廿三日午後一時四四分月と合(月の北一度三三分)あり。廿七日午前五時留を経て逆行す。十五日地球よりの距離二十九億九千一百五十七萬餘里。

海王星 十五日赤經九時二二分五三秒、赤緯北一五度三八分蟹座の東境から獅子座西境に順行す。八日午後〇時二〇分月と合(月の北〇度五六分)あり。十五日地球よりの距離四十五億八千二百九十七萬九千餘里。

流星群 六月には著しき流星群なし。中に主要なる輻射點は次の如し。

赤緯 附近の星名稱
四日 一六時四八分 南二一度 蝎座流星群
下旬 一時三六分 北四三度 座〇星
月末 一四時一二分 北五三度 大熊座流星
右の中に終の二者はウイネツク彗星に屬するものなり。其他ケフェウス座、小狐座にも輻射點あれど著しからず。

六月南中の星座
大熊、乙女、ケンタウルス
十六日 牧羊(牛飼)、乙女、ケンタウルス